

神功小学校保護者説明会にて出された質問・回答等要旨（平成30年12月15日開催）

○ 施設に関して		回答
1	新校舎設計には、余裕を持った教室数を確保できるか。	予算や物理的な都合上、望み通りにはいかない部分も出てくるかと思うが、今ある学校の良いところを残した設計ができるように、現場の教員と協議の上進めていきたい。
2	エアコン設置はいつごろの計画か。	統合再編の課題とは別に、子ども達の命と健康を守るということで、来夏までに全ての市立小中学校にエアコンを設置する方針を持っている。当然のことながら、右京小学校、神功小学校にも設置する。
○ 小中一貫校に関して		回答
3	富雄第三小中学校は、統廃合を伴わない施設一体型であるが、今回の場合、統廃合を伴う施設一体型である。そこに違いがあると思うがどのように考えているのか。	富雄第三小中学校で一番課題になったのは、大規模の富雄中学に通っている生徒を切り離して一つの中学にすることであったが、平城西中学校区の場合は、それぞれの小学校が一つのクラスになってしまうので、統合再編することである。施設一体型にするメリットについては、その効果を分かりやすく説明を行っている。
4	「施設一体型小中一貫校」というのは、必ず同じ施設に小学校と中学校がないといけないのか。	平城西中学校区で統合再編を検討するには、今回示している案が最良であると考えている。
5	右京小保護者説明会で出た意見の中で、「小中一貫校については問題がないが、なぜ施設一体型でないといけないのか。」という質問についてだが、説明をした中でまだ、理解を得られていないことに対して、市教委はどう考えているのか。	右京地域の説明会の中でも、エビデンス、数値を欲しいという意見がでた。教育効果をエビデンスで示すことは難しいが、数値であれば富雄第三小中学校が同じようにあるので、これを参考にした数値を示していく。
○ 規模適正化全般に関して		
6	統合再編に伴う予算は両地域の意見が分かれていても確保されるのか。	「平成33年4月開校」というのは教育委員会の方針であると同時に、奈良市の方針でもある。議会の判断ではあるが、しっかりと説明を行い予算計上していく考えである。
7	両地域からだされている請願の審議状況はどのようにになっているのか。	右京地域からは「学校を残したまちづくり」に関する請願が2件、神功地域からは「統合再編の早期実施を求める」請願が提出されている。11月13日の観光文教委員会で平成33年4月に開校を目指すことを表明した。次回は来年2月に開催される予定になっている。また、観光文教委員会の様子については、市議会のHPでライブ中継等もしているので、そちらもご覧いただければと思う。
8	右京ママの会が提出している請願の内容で、「魅力ある小規模学校、地域の子供の学びの拠点、交流の拠点をなくさないでほしい。」という意見は、学校規模適正化の手引きに明記されている、「地域のコミュニティの核」というところに抵触される。それについてどのように説明し、対応していくのか。	学校がなくなることで、防災の拠点、地域活動の拠点がなくなるといった声も寄せられている。今後、跡地活用を含めたまちづくりについて市長部局も同席し説明する。その中で、適正化も含めてご理解いただけるように努めていきたいと考えている。
9	統合再編を行えば、両地域の連合会も統合しなければならないのか。	これまで中山間部の東部地域や都祁地域において、統合再編を行ってきた。これまでの事例からして、旧の小学校単位で自治会がある。連合会の統合については、地域で考えていただくものと認識している。
10	コミュニティスクール化に伴う統合再編のメリット・デメリットはなにかあるか。	・学校を運営していくためには、地域の協力なくして進めていけないものだと認識している。今ある地域の実情に合わせた進め方ができればと考えている。
11	推進協議会は右京、神功の両地域全体で構成されたメンバーなのか。	・両地域合わせて一つの推進協議会を立ち上げるのが望ましいが、地域、学校と話し合いながら検討していきたい。
○ まちづくりに関して		
12	予算後の計画スケジュール、複数案(学校施設、地域の交流スペース、防災面)を示してほしい。そうすれば、右京地域で反対している人の中でも賛成に動く人がいると思うが検討の余地はあるか。	市長部局と連携して、跡地活用も含め、地域の方々がどのような意見をもっているのか聞いていく必要があると考えている。予算等の制約はあるが、いただいた意見を踏まえて今後協議していき、詳細な部分を詰めていきたいと考えている。

意 見 ・ 要 望

- 1 両地域の実情を知らない議員が多数いるように思う。市教委は議員に対してもしっかりと説明を尽くしてほしい。